

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301142	家庭科教育法B Method of Home Economics Education B	西川 愛子	専門	2	選択	2年 後期

**科目の概要**

人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成するために、高等学校家庭科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領の目標や内容を理解する ② 授業を設計する方法を身に付ける ③ 授業設計の向上に取り組む ④ 基本的な指導技術を身に付ける ⑤ 模擬授業を行い、振り返る	① 学習指導要領共通教科「家庭」及び専門教科「家庭」の目標や内容を説明することができる ② 具体的な授業場면을想定した授業設計を行うことができる ③ 授業設計の向上に取り組むことができる ④ 基本的な指導技術を身に付けることができる ⑤ 模擬授業を行い、改善することができる

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。
	傾聴力	グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト:「高等学校学習指導要領解説 家庭編」開隆堂  
 テキスト:「家庭総合 明日の生活を築く」開隆堂

**他科目との関連、資格との関連**

資格との関連:家庭科教員免許

学修上の助言	受講生とのルール
・人前で話すことができる、読みやすい文字が書ける、正しい漢字が書ける等の基本的な能力を向上させる努力をしてください。 ・新聞やニュース等の生活問題に関心を持ち、授業に生かそうとする視点をもってください。 ・模擬授業の前に練習を行ってください。	・授業で配布する資料はいつも保管しているわけではありません。出席者からもらうようにしてください。 ・遅刻は認めません。 ・模擬授業で必要なものは全て各自で準備してください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト	10	①	✓
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	40	①	
		②	✓
		③	✓
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	
		②	
		③	
		④	✓
		⑤	✓
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト(確認テスト)において、学習指導要領共通教科「家庭」および専門教科「家庭」の内容を完璧に理解し、説明することができる</li> <li>レポート(学習指導案)において、指定された書式や内容に不備や不適切な点、不整合な点がない上に、自分で調べた内容がある</li> <li>成果発表(模擬授業)において、模擬授業(50分間)を円滑に行い、基本的な指導技術が問題なく活用された上で、本時の目標が達成されている</li> <li>上記3点に加え、模擬授業後の振り返りにおいて、問題点を明確にすることができた上、適切な改善案が示された場合に S(秀) 評価とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト(確認テスト)において、学習指導要領共通教科「家庭」および専門教科「家庭」の内容をほぼ理解し、説明することができる</li> <li>レポート(学習指導案)において、指定された書式や内容に不備や不適切な点、不整合な点が多い</li> <li>成果発表(模擬授業)において、模擬授業(50分間)を円滑に行い、基本的な指導技術が問題なく活用された</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	1 学習指導要領の目標や内容を理解する ①共通教科「家庭」 共通教科「家庭」の科目、目標、内容、全体構造及び指導上の留意点を理解する ○模擬授業担当表の作成	講義 確認テスト	共通教科「家庭」の科目、目標、内容、単位数、指導上の留意点が説明できる	(予習)学習指導要領共通教科「家庭」の内容を読む (復習)学習指導要領共通教科「家庭」のポイントを整理する	120	主体性 実行力 規律性 発信力
2週 /	1 学習指導要領の目標や内容を理解する ②専門教科「家庭」 専門教科「家庭」の科目、目標、内容、全体構造及び指導上の留意点を理解する	講義 確認テスト	専門教科「家庭」の科目、目標、内容、単位数、指導上の留意点が説明できる	(予習)学習指導要領専門教科「家庭」を読む (復習)学習指導要領専門教科「家庭」のポイントを整理する	120	主体性 実行力 規律性 発信力
3週 /	2授業を設計する方法を身に付ける ①学習指導案の構成を理解する ②具体的な授業設計及び学習指導案の作成方法を身に付ける ③学習評価の考え方を理解する	講義	具体的な授業を想定した学習指導案の作成することができる 評価の観点及び趣旨について説明できる	(予習)授業設計、学習指導案の作成について調べる (復習)具体的な授業を想定した学習指導案を作成する	120	主体性 実行力 規律性
4週 /	3授業設計の向上に取り組む ①生徒の実態を考慮した授業設計の重要性を理解する ②様々な学問領域との関係を意識した教材研究を理解する ③実践研究の動向を知る ④授業設計の向上に取り組む	講義 グループワーク	生徒の実態を考慮した授業設計の重要性が理解できる 様々な学問領域との関係を意識した教材研究ができる 実践研究の動向を調べることができる 授業設計の向上に取り組むことができる	(予習)具体的な授業を想定した学習指導案を作成する (復習)作成した学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力
5週 /	4基本的な指導技術を身に付ける ①聞き取りやすい声について理解する ②わかりやすい板書方法を身に付ける ③情報機器及び教材の活用方法を知る	講義 グループワーク	聞き取りやすい声を出すことができる 読みやすい文字を書くことができる	(予習)自分に不足している指導技術を考える (復習)聞き取りやすい声を出せるよう練習する 読みやすい文字が書けるよう練習をする	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力
6週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ①人の一生と家族・家庭 人の一生と家族・家庭についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習)学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習)振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
7週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ②子どもとのかかわりと福祉 子どもとのかかわりと福祉についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習)学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習)振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
8週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ③高齢者とのかかわりと福祉 高齢者とのかかわりと福祉についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習)学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習)振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ④生活における経済の計画と消費生活における経済の計画と消費についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
10週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ⑤食生活の科学と文化 食生活の科学と文化についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
11週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ⑥衣生活の科学と文化 衣生活の科学と文化についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
12週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ⑦住生活の科学と文化 住生活の科学と文化についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
13週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ⑧持続可能な社会を目指したライフスタイル 持続可能な社会を目指したライフスタイルについての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
14週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ⑨生涯の生活設計 生涯の生活設計についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力
15週 /	5 模擬授業を行い、振り返る ⑩ホームプロジェクト又は学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクト又は学校家庭クラブ活動についての模擬授業を実施し、役割に応じて振り返る	模擬授業 グループワーク	学習指導案を作成することができる 模擬授業を実施することができる 授業改善の視点で模擬授業を振り返ることができる	(予習) 学習指導案を作成する 模擬授業の準備をする (復習) 振り返りで指摘された内容を中心に、学習指導案を改善する	120	主体性 実行力 課題発見力 規律性 発信力 創造力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力